

## 防犯対策について



正和会  
小林 貢 議員



**質問** 本市の犯罪件数と、防犯対策としての自動通話録音機貸与事業について伺う。

**市長** 本市の刑法犯認知件数は平成16年の1469件をピークに年々減少し、令和4年は312件で、うち特殊詐欺被害の認知件数は9件。自動通話録音機貸与事業は、特殊詐欺によ

る被害防止を目的に平成27年度に東京都の貸与事業と並行して開始したもので、これまで1300台余りを希望された市民全員に貸し出すことができています。

**「ふっさ わたしの便利帳」について**

**質問** 日常生活に役立つ情報を掲載した冊子「ふっさ わたしの便利

帳」の経緯と現状について伺う。

**市長** 平成23年度以降、官民協働事業として、市の費用負担なく作成及び全戸配布を行ってきたが、平成29年度で便利帳掲載事業を終了したことに伴い、財政負担や電子化の進展などの点から、現在は市ホームページに公開し、対応している。



▲ふっさ わたしの便利帳の表紙

## 子どもの意見をまちづくりに活かすことについて



生活者ネットワーク  
三原 智子 議員



**質問** 本市の市政における子どもの意見を聞く取り組みについて伺う。

**市長** これまで、都市計画マスタープラン等各種計画の策定時にアンケートを実施したり、青少年の意見発表大会や子ども議会など、子どもの意見を直接的に聞く取り組みを長年実施している。令和5年4月施行

のこども基本法の基本理念では、子どもの意見表明の機会や多様な社会的活動への参画機会を確保すると明記されており、さらに積極的に子どもの意見や権利を尊重していきたい。

**質問** 子どもの権利や意見を尊重する具体的な取り組みは。

**子ども家庭部長** 子どもの最善の

利益の観点から、多様な手法で様々な子どもの声を聞くことが重要と考える。現在、国において子どもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究を実施しており、これを受け、「こどもまんなかふっさ」の新たなスローガンの下、今後も幅広く子ども政策を展開したい。



▲青少年の意見発表大会の開催チラシ

## 各種ワクチン接種助成について



公明党  
堀 雄一朗 議員



**質問** 白血病等で骨髄移植や化学療法を受けた方は、定期予防接種で獲得した免疫が低下、消失し、再接種に高額な費用がかかっている。費用の助成について、所見を伺う。

**市長** 現行の予防接種法では、定期接種としての対応は想定されておらず、自治体独自の助成事業となる。

令和4年度時点で東京都26市中17市が実施。福生市医師会とも相談しながら課題等を精査し、都の補助事業の活用も含め、検討していきたい。

**福生3・3・3の1号新五日市街道線整備の進捗について**

**質問** 東京都が事業施行期間の5年延長を届け出た。進捗について市

が把握していることを伺う。

**市長** 令和2年度から用地取得を進めて、まだ1～2%の取得率にとどまるが、道路拡幅に支障となる横田基地内の米軍施設の移設等も防衛省や関係機関と協議を進めているとのこと。都に対し引き続き早期完成を要望するとともに協力していく。



▲現在の福生3・3・3の1号新五日市街道線

## 道徳教育の一層の充実について



正和会  
石川 義郎 議員



**質問** 本市の小・中学校における道徳科の現状と課題について伺う。

**教育長** 道徳科の授業は、各学校で週1時間実施。知識としてではなく、児童・生徒自らが自分事としてじっくりと自己を見つめて考える指導が重要である。課題は、教師の指導力の向上。研修会への参加や「道

徳教育推進教師連絡会」を活用し、指導方法の改善に取り組んでいる。

**我が国と郷土を愛する心の醸成について**

**質問** 令和3年12月定例会で、教師用指導資料を改訂していくとの答弁があったが、その後の進捗を伺う。

**教育長** 「小・中学校における『ふ

るさと福生に対する愛着と誇りを醸成する教育』について」は、市制50周年や全児童・生徒へのiPad配備があったこと等を考慮し、改訂を進めてきた。今後、令和5年4月に改訂版の電子データを市内全教員へ配信し、ふるさと福生への愛着と誇りを培う教育の推進を指導していく。



## シルバーピアについて



公明党  
原田 剛 議員



**質問** 入居者が高齢のため、空室発生の見通しが難しいと思うが、退去後の内装工事やハウスクリーニングはどのように計画しているのか。

**市長** 単身の高齢者が多いため、施設への入居等により急に退去者が増えることがある。様々な事由が影響するため、見通しは立ちづらいが、

空室が発生し次第、順次内装改良工事を進めている。

**電子図書館について**

**質問** 導入に至った経緯を伺う。

**教育長** サービス内容や経費等、様々な課題があったが、解決に向け、調査研究を行ってきた。本市の児童・生徒はiPadを活用できるため、

導入により読書活動推進の足掛かりになると考える。また、文字拡大や音声読み上げ機能等により、高齢者も便利に本を閲覧できる。庁内でも検討を重ねた結果、電子図書館の導入は必要性が高いとの認識により、市のDX推進の一環として令和5年度の予算計上に至った。



▲市内シルバーピアの外観

## 都市計画道路3・3・30号武蔵野工業線(産業道路)の今後の延伸について



正和会  
串田 金八 議員



**質問** 計画では、福生第三小学校の前を通ることになっている。小学生がたくさん通行する地域に大きな道路ができることを地元住民は望んでいないと思うが、今後の計画について伺う。

**市長** 昭和36年10月に都市計画決定され、現在富士見通りから多摩橋

通りまでが施工中で、その先の新興多摩街道までの区間は未施工。平成28年3月に都と特別区及び26市2町が策定した、「東京における都市計画道路の整備方針」の中では、多摩橋通り以南は優先整備路線に指定されておらず、令和元年11月に見直された基本方針でも変更はない。一方、

基本方針では、社会経済情勢の変化や道路のニーズを踏まえて都市計画道路の不断の見直しを行うことが示され、整備または変更についてさらに検討が必要。将来のまちづくりにおける広域的な視野で進める一方、地域の実情を勘案し、市民のご意見も伺いながら都と協議していきたい。



▲一部開通されている3・3・30号武蔵野工業線